

郵便はがき



株主通信

2012年3月期 第3四半期

2011年12月末日の株主様に送付しております

株式会社SRAホールディングス

証券コード●3817 <http://www.sra-hd.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

ハガキがぬれている場合は乾かしてからご覧ください

株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

情報サービス業界におきましては、東日本大震災、円高の長期化等に伴う業績の先行き不透明感を背景にして、IT投資に慎重な顧客企業が多く見られ、厳しい事業環境で推移しました。

第3四半期の業績は、前年同期比では、売上高、粗利益は横ばいでしたが、販管費の効率化により、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべてが増益となりました。

厳しい事業環境のもと、中核事業会社である株式会社SRAの開発事業の受注は、前年割れが続いていましたが、第3四半期でプラスに転じ、第3四半期累計でも前年同期を上回ることができました。また、開発効率の向上、配員管理の強化による生産間接費の適正化等に努めた結果、連結における開発事業の売上高総利益率は3四半期連続で20%を超えました。

2012年3月期の配当につきましては、1株当たり40円を維持することを計画しています。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年2月

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿馬 亨



第3四半期 連結業績ポイント解説

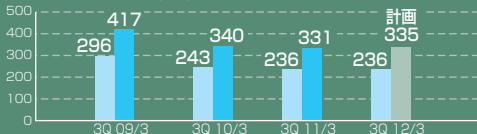
※表示単位未満
切り捨て表示

売上高 ▶ **236**億円 通期計画：335億円 (単位：億円)

<前年同期比0.0%減>

●販売事業が増加し、他の減収分をカバー

■第3Q ■通期 ■通期(計画)

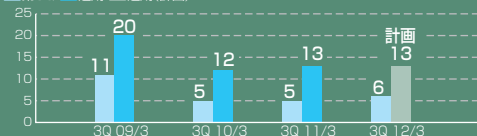


当期純利益 ▶ **6**億円 通期計画：13億円 (単位：億円)

<前年同期比17.6%増>

●経常利益、特別利益の増加等により増益

■第3Q ■通期 ■通期(計画)

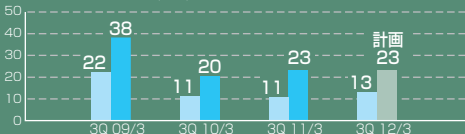


経常利益 ▶ **13**億円 通期計画：23億円 (単位：億円)

<前年同期比14.2%増>

●販管費の効率化により増益

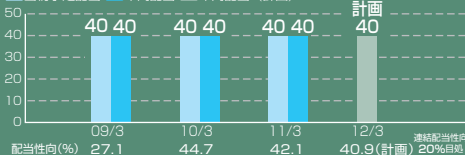
■第3Q ■通期 ■通期(計画)



1株当たり配当金 (単位：円)

●配当金は40円の維持を計画

■当初予定配当 ■年間配当 ■年間配当(計画)



Topics

「自社IP製品ビジネス」×「海外ビジネス」を強力に推進

第1弾として、中国で販売ビジネス開始

SRAグループは、中国における販売チャンネルを構築し、中国市場をターゲットにした販売ビジネスを本格的に開始しました。これは、中期経営計画の中長期成長戦略である「自社IP製品ビジネス※1の推進」、「海外ビジネスの拡大」の一環でもあります。

今回の中国市場進出に際しては、中国全土に有力な販売チャンネルを持ち、ワイヤレス機器の製造販売を強力に推進している鑫金浪电子有限公司（以下「Kingnet」）の販売網を活用し、第一段階ではProxim社※2の製品を、将来的にはSRA自社IP製品を販売していく計画です。

また、中国市場における販売が一定規模に至った場合は、Kingnetのみならず、SRAホールディングスと業務・資本提携を2009年2月に行った株式会社SJIの筆頭株主であり、中国最大手ITサービス企業であるデジタル・チャイナ・ホールディングスグループとの販売チャンネル構築も可能となる見込みです。今後SRAグループでは、中国におけるビジネスを成功させ、インド、ASEANにも同様の展開を図り、海外の成長性を取り込んでいく考えです。

※1 自社IP製品ビジネス:知的財産権を有する、収益性が極めて高い自社ブランドの製品ビジネス

※2 Proxim社=Proxim Wireless Corporation (詳細:本年度第2四半期株主通信で紹介)

SRAホールディングスの連結子会社であるSRA OSS, Inc.(本社:米国)と2009年8月に業務・資本提携を行う。ITの成長分野である「ワイヤレスデータコミュニケーション」における先進的製品を有する米国の機器メーカー。SRAOSSとの協業のもと、北米、南米、ロシア、カナダ等で多くの導入実績がある。